

第35回 東海道シンポジウム2023川崎宿 ～むすび つながる 東海道～

歴史の道 東海道宿駅会議が毎年、東海道の宿場町で開催している「東海道シンポジウム」を、2023年は川崎市との共催、川崎宿起立400年を記念する大会として2023（令和5）年10月21日（土）午後にカルッツかわさきホールで開催し、全国から関係者、地元川崎市民など計700人以上の観客を集めました。

開会式・基調講演

主催者や来賓によるあいさつの後、大会のシンボル「旅路の像」が前回開催宿の亀山宿から川崎宿へ引き継がれました。

続く基調講演では、江戸に詳しく歴史タレントとして数々のメディア出演や著書のある堀口茉純さんに「川崎宿と江戸の女たち」と題して、川崎の宿場時代の姿や出来事、そこにいた女性たちの姿を紹介いただきました。



歴史の道 東海道宿駅会議 堀江理事長 挨拶



司会の鈴木さん、平出さん（左から）



旅路の像の引き継ぎ



堀口茉純氏の基調講演



東海道川崎宿2023 下村 京子

各宿場を巡る東海道シンポジウムを、起立400年を迎えた川崎宿で開催でき、うれしく思います。シンポジウムPRイベントなどの場で、「御紋むすび伝説にちなんだおむすび音頭をいっしょに踊りましょう」と呼びかけた結果、シンポジウム当日に多くの方に集まっていただき、皆さんと踊ることが出来ました。

おむすび音頭は5年前から各町内会の盆踊りで踊っていただきました。コロナ禍でも赤いマスクを着用し梅干しおむすびになりきりました。富士通スタジアムや稲毛神社などでの各種イベントでも皆さんと踊ってきました。

これからもおむすび音頭の輪を市内外に広げていきたいです。

第35回 東海道シンポジウム2023

パネルディスカッション「むすび、つながる東海道のまちづくり」

枚方宿鍵屋資料館の辻田氏、鞠子宿17代丁子屋平吉の柴山氏、旧東海道品川宿まちづくり協議会の大越氏、川崎宿から石渡氏が、それぞれの宿場の取り組みを発表。まちづくりって何をしているの？まちづくりのコツや課題、「むすびつながる」ことの大切さなどについてディスカッションしました。



御紋むすび伝説で川崎宿をアピール!

紙芝居屋 もっちいさんが、川崎宿が三角おむすびの発祥の地だという「御紋むすび伝説」を紹介、その後は市民有志おむすびーZU制作の「川崎おむすび音頭」を会場一体で歌って踊って盛り上がりしました。



東海道川崎宿2023 石渡 稔也

品川宿・大越さんの「歴史の道、東海道が世界遺産入りするまで頑張りたい」との言葉に感動。川崎宿も負けてはいられません。

約20年前に市民の声から始まった様々な動きが「東海道川崎宿2023」や「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」の取り組みを経て、川崎宿の認知度も上がってきたと感じます。

川崎宿は交通のアクセスも非常に良いので、防災、観光などの面から街道の整備に力を入れ、他の宿場からうらやましがられる日本一の宿場・道になる事を目指し、次世代の皆さまにバトンタッチしていきたいです。

川崎宿 ～むすび つながる 東海道～

会場内やロビーで展示やおみやげ販売 夜は交流会

ホールロビーでは、東海道川崎宿に関する模型や解説パネル、写真や作品の展示、参加した各宿場の広報物などが展示されました。ホール出入口外のデッキ上では、川崎宿のおみやげ等を売る出店もあり、賑わいました。閉会后、各宿の関係者が集まり川崎商工会議所で交流会も開催し、宿場間の情報交換、交流も一層進みました。



ペットボトルキャップアート



六郷渡舟



県内宿場の写真展示



オリジナルフレーム切手販売、小型印押印



川崎宿関連の物販



川崎商工会議所での交流会



東海道川崎宿2023 代表 原 宇八郎

過去のシンポジウム大会では、各宿場の地元愛や、東海道への熱い想いに感銘を受けてきました。

川崎宿大会の基調講演は、歴史タレントの堀口茉純さんに、若い女性目線から川崎宿の歴史や魅力を語っていただきました。丸子宿の柴山氏の座右の銘「咲いた花見て喜ぶならば、咲かせた土の恩を知れ」が強く印象に残っています。鈴木よしえさん、平出隆さんの息の合った司会進行も大会を盛り上げました。

700人もの参加者を得、成功裡の内に大会を終えることができたのは、関係者の熱い思いと官民一体の20余年に渡る活動の成果です。この場をお借りして、皆さまに深く感謝を申し上げます。

※写真はシンポジウム閉会式で次回ホスト新居宿の寺田さんに大会旗を手渡す原さん(左)

東海道川崎宿起立400年記念 企画展示

川崎宿まちなみジオラマ展・市内図書館巡回PR展示

川崎宿起立400年を記念する秋の諸イベントの開催予告も兼ね、川崎宿のジオラマや写真、解説パネル等の巡回展示を2023（令和5）年5月から12月まで、アトレ川崎（JR川崎駅ビル）、富士通スタジアム、イトーヨーカドーや川崎信用金庫、図書館や市庁舎など区内各所で行いました。



イトーヨーカドー川崎港町店



川崎信用金庫本店



川崎図書館

東海道かわさき宿交流館、川崎浮世絵ギャラリーでの企画展

東海道かわさき宿交流館では2023（令和5）年10月から11月末に、「川崎宿1623～2023」と題し、川崎宿の歴史に係る企画展示を開催。期間中に江戸時代の旅や食に関する特別講演、古文書講座なども開催しました。



川崎浮世絵ギャラリーでも、特に東海道関連の浮世絵を取り上げた企画展「あれもこれも東海道展」「歌川広重 東海道五拾三次之内 雪月雨風の世界」を2023（令和5）年10月から12月に開催しました。



川崎浮世絵ギャラリー展示室



東海道かわさき宿交流館 副館長 濱舘 幸二

川崎区役所と調整を図りながら当館開館10周年に当たる10月1日（日）に、10周年記念式典＋開館10周年祭り＋中間灯点灯式＋川崎宿1623～2023特別企画展（10/1～11/26）を同時開催することができました。続けて10月7日には、事務局として東海道川崎宿スタンプラリーの開催、10月21日の東海道シンポジウムにおける連携事業の実施等、全て無事に滞りなく実行できました。これも皆さまのご協力ご支援の賜物と深く感謝しております。

これからも地域の交流・振興に係る事業に邁進しつつ、川崎宿の発展に少しでも寄与したいと思っております。

東海道川崎宿・大師道 御朱印めぐり

川崎宿、大師道の4つの神社を巡って 集める特別な御朱印



2023（令和5）年10月の土・日・祝日に「東海道川崎宿・大師道 御朱印めぐり」を開催しました。稲毛神社、川崎稲荷社、大師稲荷神社、金山神社の4社の限定御朱印を集めた方には「満願守」が授与されました。



満願守の表（左）と裏（下）



専用台紙に集められた限定御朱印



若宮八幡宮 禰宜 町田 喜江

御朱印めぐりは、川崎宿ゆかりの4社にご協力を頂いて実現しました。専用の御朱印台紙や記念の満願守は、起立400年らしさを感じられるよう、「東海道五十三次之内川崎六郷渡舟」の浮世絵（公益社団法人川崎・砂子の里資料館所蔵）の起用など、細部までこだわったデザインとしました。

若宮八幡宮の境内社である金山神社の「かなまら祭」は、かつて川崎宿周辺に住む飯盛女たちが厄除け祈願をしていたことに起源します。母と亡き父が仲間と共に川崎宿を盛り上げようと長年取り組む姿を見て育ち、私自身も地元の方と川崎宿のインバウンド需要を高める活動に取り組んでいます。

六郷の渡しまつり2023



会場全体の様子 水上にはクルーズ船



復活!六郷の渡し

イベントチラシ



川崎⇄羽田クルーズの運行

江戸時代の渡し舟が、現代のクルーズ船として復活! 屋根無し・有りの2艘、全8便が運航され、招待客や事前抽選に当選した方々、約300名が、六郷橋⇄多摩川スカイブリッジの約1時間の乗船を楽しみました。

地元川崎のうまい店が集結! ビアフェスも開催



地元川崎や宿場の行列店が数多く出店。多摩川流域、東海道のクラフトビールのお店も並びました。会場は1万人以上の来場で一時は携帯電話がつながりにくくなるほど混雑し、売り切れ店も出る中、水辺を眺めながらくつろぎ楽しむ人々で、遅くまで会場は賑わいました。



川崎新宿青年会 会長 西井 健

東海道川崎宿の魅力は、歴史的な建物や風景を思い起こさせる場所と食文化です。本陣や旅籠などの歴史的な建築物の大半は失われてしまいましたが、六郷の渡しまつりでは一日限りで渡し場を復活させ、宿場町当時の繁盛ぶりや交通の要所としての役割を感じられる機会となりました。川崎はかつて日本各地から集まった人々が交わった場所であり、今でもさまざまな食文化が根付いています。六郷の渡しまつりでの、クルーズ船乗船や地元料理の飲食などのさまざまな体験を通じて、東海道川崎宿の歴史や文化に触れていただけたのであればうれしいです。

2023（令和5）年10月22日（日）、川崎宿を描いた多くの浮世絵に登場する「六郷の渡し」のあった多摩川六郷橋下流河川敷に賑わいを創り、東海道筋、鉄道駅（JR・京浜急行）等との周遊性を高めるイベントを開催しました。

🌀 ステージやスポーツなど、様々な楽しみや体験を提供

ステージでは川崎で活躍するミュージシャンや芸者衆がパフォーマンス。川崎フロンターレ、川崎ブレイブサンダース、NECレッドロケッツ、川崎新田ボクシングジムなど、プロスポーツチームによる競技体験や、小川町町内会によるお神輿体験などのブースでは多くの子どもが楽しむ姿も見られました。



🌀 東海道をって祭り会場へ！

東海道シンポジウム翌日に開催され、全国の宿場からの来場もありました。かわさき歴史ガイド協会による川崎宿や川崎大師のガイドツアー、川崎⇄大師⇄羽田空港のオープントップバスの運行、東海道歩き旅アプリ「膝栗毛」の活用による商品券プレゼントなども展開され、多くの方が東海道の魅力を体験しました。



川崎銀座商業協同組合 理事長 小林 一三

今回は過去2回の「六郷渡場フェス」から規模を拡大し、より多くの来場者に、より長い時間いてもらえるようにキッチンカーや体験ブースなどを数多く揃えました。また、ステージの音楽を聴きながら、ゆったりできるよう、川辺をリラックスチェアで埋め尽くし、皆さまにご利用してもらえました。

当日までに20回の打合せや会議があり、地元の川崎新宿青年会のメンバーを中心に意見交換をして、1万人以上の来場者に来てもらえて、苦労した甲斐がありました。今後この場所が東海道の渡し場復活として、工場夜景クルーズなどにつながり観光の目玉になってくれればと思います。

川崎宿起立400年を盛り上げる

東海道川崎宿起立400年記念レースの開催

川崎競馬場及び競輪場で、「東海道川崎宿起立400年記念」を冠したレースが開催されました。

競馬は2023（令和5）年9月12日（火）開催の第10レース、競輪では11月11日（土）～13日（月）にかけてのレースに協賛し、優勝者に副賞を提供しました。競輪場では12日（日）、浮世絵刷り体験などのワークショップも会場内で行いました。



川崎競輪 表彰式



川崎競馬場ドリームビジョン



川崎競輪ポスター

オリジナルフレーム切手、記念小型印

日本郵便株式会社の協力を得て、オリジナルのフレーム切手及び小型印が制作されました。

フレーム切手は東海道川崎宿の中間灯にも使用された川崎を描いた浮世絵が盛り込まれたデザインで、10月から川崎区内の郵便局で販売した500シートが早々に完売しました。（現在は販売終了。）

小型印は川崎宿起立400年記念ロゴをそのままデザイン化したもので、2023（令和5）年10月から12月の3か月間限定で、川崎京町郵便局が扱う郵便物に押印されました。



日本郵便株式会社 川崎京町郵便局 局長 浅古 健一

フレーム切手は企画段階から何度も打合せを行って、レイアウトなどの修正を繰り返し、納品・販売にこぎつけることができました。

小型印は絵が細かく、きれいに押印できるから配でしたが、とても素敵な小型印が完成しました。私自身、今回初めてフレーム切手と小型印を作製し、色々と苦労もありましたが、フレーム切手は早々に完売、小型印も国内外から延べ500通以上の押印依頼があり「川崎宿起立400年」の関心の高さを強く実感することができました。

地域の動き

川崎宿起立400年プロジェクト推進会議の参加団体・企業・商店等を中心に地域でも様々なイベントやキャンペーンが開催された他、川崎宿にちなんだ企画商品やパッケージ、キャラクター等が誕生しています。

川崎宿起立400年を記念したイベント



川崎夜市
(11月、川崎夜市実行委員会)



工場夜景・宵大師バスツアー
(8月ほか、川崎宿インバウンド研究会)



お寺で弦楽四重奏
(9月、カルテットシスレー)

その他の 記念 イベント例

川崎宿大学「伊能図でみる川崎宿」(2月、東海道川崎宿2023)、学習発表会～大師地区の今・昔～東海道川崎宿400年に向けて～(2月、大師・藤崎・殿町こども文化センター)、MIMOSA FESTA 2023(2・3月、チッタエンタテインメント)、リアル謎解き「かわさき400年の秘宝」(5月、川崎青年会議所)、南武線で巡る、川崎の歴史 重ね捺しスタンプラリー(6月、JR東日本川崎駅)、縁道寄席(6月、ホテル縁道)、川崎大師風鈴市(7月、川崎大師観光協会)、夏フェス2023(8月、川崎日航ホテル)、記念公演「川崎LIVE」(8月、東海道セブンスターズ)、夏まつり(8月、富士通スタジアム川崎)、感謝大盛り大「縁」会(8・9月、川崎区盛り上げ隊!)、手作りワークショップ(10月、川崎銀座街・pittan)、川崎区民 DAY(10月、富士通スタジアム川崎)、駅からハイキング(10・11月、JR東日本川崎駅)、東海道川崎宿&たじま歴史散歩(10・11月プラザ田島)、花展2023(11月、川崎市総合文化団体連絡会)、川崎ディスカバーウォーク(地図の発行、NPO法人ファンズアスリートクラブ)…ほか

川崎宿にちなんだ商品やキャンペーン、キャラクターなど



おむすび煎餅(堂本製菓)



奈良茶飯風おこわ(菓寮 東照)



川崎信用金庫オリジナルキャラクター「かわむす」

その他の例

清酒「東海道川崎宿」(福来屋酒店)、クラフトビール「1623」(東海道BEER川崎宿工場)、フィナンシェ「六郷の渡し舟」(菓寮 東照)、切りガラス「東海道」(東海道GLASS)、浮世絵オルゴール(大西家具店)、おむすび道明寺(明志屋)、ごっつあんチカラおむすび(ちゃんこ料理勝盛家)、どら焼き「多摩川の渡し」(菓子匠末廣庵)、特別な宿泊プラン・食事・体験等の提供(川崎日航ホテル、ホテル縁道、ホテルメトロポリタン川崎、SAKE Kura Hotel 川崎宿)、東海道川崎宿ブレンドコーヒー(喫茶ともだちのいえ)…ほか



川崎宿インバウンド研究会 会長 森 明弘

川崎宿起立400年をきっかけに「訪日外国人に川崎の歴史、魅力を知ってもらい、経済の活性化をはかろう!」という思いから、川崎駅前から川崎区の見どころや名所を回って羽田空港へ向かう、スカイパス(屋根のない観光バス)の運行をおこないました。参加者には川崎駅前や川崎大師の商店街で使用できる商品券を購入してもらい、バスに無料で乗車出来るという方法で行いました。川崎の歴史的遺産である東海道の魅力と水辺や川崎大師といった名所みどころを紹介出来た事に加え、今後の外国人誘致の課題やアイデアの基礎を作る事が出来たと思っています。